



8/16 ほのかな明かりに願いをこめて
稲生川灯ろう流し

稲生川第一西裏橋を中心に稲生川灯ろう流しが行われました。橋のたもとに集まった多くのかたが見守る中、先祖供養、家内安全などの願いが込められた約200個の灯ろうが、消防団第1分団員らの手により、稲生川に流されると、川面を灯ろうの淡い光が包み込みました。

小山田陽太くん（青森市立造道小5年）は「灯ろう流しは今回初めて見ました。とてもきれいだったので、また来年も見に来たいです」と話しました。



灯ろうの淡い光が水面を照らし、辺りは幻想的な雰囲気になりました

7/30 本を通して人を知る 人を通して本を知る
第1回子どもビブリオバトル

市民図書館で、『第1回子どもビブリオバトル』が行われました。ビブリオバトルは、発表者たちが、おもしろいと思う本の魅力を紹介し合い、最も読みたいと思う『チャンプ本』を投票で決める知的書評合戦です。

チャンプ本発表者となった根田彩吹さん（三本木小6年）は、「人前での発表は緊張しました。今回発表した本をみんなにも読んで欲しいです。次回もビブリオバトルがあれば参加したいです」と話しました。



小学4年から6年までの5人が発表者として参加。今回は、梨屋アリエ作『ココロ屋』がチャンプ本に選ばれました



粘り強い相撲で個人戦準決勝まで駒を進めた山市選手

8/15 三本木農業高校山市くん、個人戦3位の健闘！
選抜高校相撲十和田大会

市相撲場で『第64回選抜高校相撲十和田大会』が開催され、全国から40校が参加しました。

地元の期待を集める三本木農業高校は、1・2年生のみで大会に挑みました。団体戦は、準々決勝で敗れ、惜しくもベスト8。個人戦では、山市大悟くん（2年）が第3位に輝きました。

山市くんの活躍に会場に詰め掛けた観客は大いに盛り上がりを見せ、健闘をたたえる拍手が送られました。



『にんにん』の絵と『I♥六日町』の文字が描かれています

十和田にもあったんだ！
田んぼアートが大人気！



相坂字箕輪川原の田んぼアートが注目を集めています。これは、奥入瀬川沿岸地域保全広域協定（平館元秀代表）が、農業と農村の有する多面的機能の維持と発揮を図る市多面的機能支払交付金事業の一環で、景観形成を目的に作ったものです。べにあそび、あかねあそび、ゆきあそび、まっしぐら、紫穂波の5種の稲を使っています。皆さんも、お近くに行った際には、ぜひ寄ってみてください。

8/11 ♪三本木ヨイとこまたおんで～
第8回とわだ夏おどり

中央公園緑地で「第8回とわだ夏おどり」が開催されました。このイベントは、とわだ夏おどり実行委員会（黒沢一郎委員長）が主催し行っているもので、市の「元気な十和田市づくり市民活動支援事業」を活用して、開催されています。恒例の「第6回ゆかたの似合う女性コンテスト」や、今年から新設された踊りが1番上手な人に贈られる「とわだ夏おどり賞」の贈呈なども行われ、参加者は、爽やかな夏の夜を楽しみました。



参加者らは、三本木小唄、とらじょ様など、盆踊りではおなじみの曲を軽快に踊りました

Pick Up 祝！土佐町と姉妹都市締結30周年
平成27年度小学生交流事業

市内の小学生が日本三大開拓地の一つ宮崎県川南町、姉妹都市の高知県土佐町、友好都市の岩手県花巻市をそれぞれ訪問し、現地の児童たちと交流する『平成27年度十和田市小学生交流事業』が行われました。

7月31日から8月3日まで川南町へ18人、土佐町へ8人、8月5日から7日まで花巻市へ16人の児童が参加しました。

土佐町との交流事業は、今年、旧十和田湖町が土佐町と姉妹都市を締結して30周年を迎えることから、小山田市長をはじめとする使節団が同行し、姉妹都市提携30周年を記念して、南部裂織「鳶沼の朝焼け」を贈りました。大町桂月が愛した鳶の景色と、時を超えて十和田市と土佐町の人々をつなぐ想いが織り込まれています。

また、夏空の下、道の駅『土佐さめうら』で、十和田市と土佐町の絆がさらに大きく育つことを願い、市の花である『さくら』の記念植樹を行いました。

それぞれの地を訪問した子どもたちは、サーフィン、カヌー、キャンプなどの体験を通じて、たくさんの友達を作り、また、それぞれ異なる風土文化へ理解を深めるとともに、十和田市の魅力を再認識することができました。



記念品の南部裂織「鳶沼の朝焼け」とともに記念撮影（土佐町）

8/2 きれいな川を守り続けよう
奥入瀬川クリーン作戦

奥入瀬川御幸橋下流河川敷を中心に『第32回奥入瀬川クリーン作戦』が開催され、市民など約750人が参加しました。開会式で、奥入瀬川クリーン標語コンクールの表彰式が行われた後、参加者は川沿いのゴミを拾い集めました。

ゴミ拾いに参加した梅田千恵梨さん（三本木高付属中2年）は、「きれいな川です。こういう川をきれいに保つ活動は定期的に行うべきだと思います」と話しました。



激しい雨が降る中、上流と下流に分散し、中堰から六戸町までの河川敷のゴミを拾い集めました



市の花『さくら』の記念植樹をする小山田市長と和田守也土佐町長（土佐町）